

石川県リハビリテーションセンターニュース

～平成30年度事業等について～

目次

リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業【①地域づくり】	1
リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業【②人材育成】	2
リハビリテーションセンター研修事業	3
難病相談・支援センター事業	4
高次脳機能障害相談・支援センター事業	5
高次脳機能障害相談・支援センター「生活支援教室」のご紹介	6

リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業【① 地域づくり】[平成30年度]

1 在宅リハビリテーション検討会

障害があっても住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、平成29年度から自立を視点においた相談及びリハビリテーション技術支援（以下、リハ支援）を的確に提供するために、各地域で医療・保健・福祉に関わる多職種がどのように連携し、充実した支援ができるかを検討する場として「在宅リハビリテーション検討会」を開催しています。

今年度は、重度な肢体不自由児・者や難病など医療的ケアが必要とされる障害のある方が、自立度の高い在宅生活を送れるよう、専門病院や回復期リハ病院等の医療機関と、在宅生活を支援するリハ専門職、介護支援専門員、相談支援専門員等が各々有益な情報伝達が行える関係づくりを目的にリハビリテーションに関する検討会を開催します。

昨年度と同様に、能登北部、能登中部、南加賀、石川中央東（かほく市、津幡町、内灘町、金沢市）、石川中央西（白山市、野々市市、金沢市）の5会場で開催します。

また、今年度は在宅リハビリテーションに関する基調講演をはじめ、当事者や家族のご協力による実践報告会を企画しましたので、多数のご参加をお待ちしております。

日時	内容および講師	会場	対象者
9月15日(土) 9月22日(土) 10月7日(日) 10月20日(土) 11月3日(土)	在宅リハビリテーション検討会 ①医療・福祉・在宅におけるリハ支援等の報告 ②リハセンターの報告 ③事例検討 *講師については、各地域の方と調整中	5会場で開催 (圏域ごとに会場は調整中)	リハ専門職、 介護支援専門員、 相談支援専門員、 市町職員等
11月29日(木) 13:30~17:00	リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業 報告会 I 基調講演 在宅リハビリテーション支援の考え方と今後の展望(仮題) 講師：横浜市総合リハビリテーションセンター 顧問 伊藤 利之氏 II 実践報告会 報告者：当事者・家族と支援関係者	県リハセンター	リハ専門職、 介護支援専門員、 相談支援専門員、 市町職員等

2 市町事業にかかわるリハ専門職連携体制づくり

昨年度に引き続き、石川県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡会との協働で、リハ専門職が積極的に多職種と連携し市町事業に関与できるネットワークづくりを目的に、同連絡会と連携して理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が共通して学べる研修内容及び各々の専門性を高める研修内容を体系的に企画することで、市町の地域支援事業に関与する人材の資質向上を図る取組みを進めていきます。

具体的な内容については、各職能団体を通じるとともに県リハセンターホームページ等でお知らせしていきますので、ご支援ご協力をお願いします。

リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業【②人材育成】[平成30年度]

昨年度より、障害があっても住み慣れた地域でその人らしく暮らしていくために的確なリハ支援を提供できるよう、医療・福祉の連携、顔の見える関係づくり・地域づくりを進めているところですが、リハ支援を提供できる人材はまだ不足しているのが現状です。このため、各地域で福祉用具等を用いたリハ支援ができる専門職の人材育成が急務となっており、更なる知識・技術の向上を目的とした研修事業を今年度も下記のとおり進めてまいります。関係の皆様方には、ご協力を宜しくお願いいたします。

1 自立支援機器情報交換連絡会

生活支援の専門職として常に福祉用具の最新情報を持つことは、障害のある方や高齢者の自立支援を行う上で最適な情報を発信できることにつながります。リハ専門職や福祉用具専門相談員、当事者の方々を対象に、福祉用具メーカー各社にご協力をいただき、最新情報を得る場として情報交換会を開催しますので、ぜひ多数の参加をお待ちしています。

回	日時	内容	会場	対象者
1	8月5日(日) 13:00~14:45	シーティング用具 ~クッション、パッド、ベルト等~	県リハセンター	福祉用具取扱業者、福祉用具専門相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、当事者等
2	10月25日(木) 16:00~18:00	コミュニケーション機器 ~意思伝達装置、各種入力機器等~		
3	2月22日(金) 16:00~18:00	介護ロボット ~見守り・コミュニケーション支援等~		

上記の定期開催以外にも、メーカー来県時に随時開催しており、メールアドレスを登録いただいた方にメールでご案内していますので、ぜひご登録ください。登録方法は、当センターのホームページに掲載しております。
→ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri/index.html>

2 自立支援機器スペシャリスト人材育成

平成29年度から、リハ専門職と福祉用具専門相談員の方の専門性をより高めるために、事例演習を中心とした自立支援機器の実践研修を開催しています。

今年度は、昨年度に引き続き「車椅子」をテーマに、最新の支援技術について学びます。また、昨年度の研修を修了した方を対象に、フォローアップ研修を行います。

(1) 実践研修

回	日時	内容	講師	会場	対象者
1	12月8日(土) 13:30~17:00	講義・グループワーク：車椅子適合の手順とコツ	講師：当事者、県リハセンター職員	県リハセンター	経験年数5年以上の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
2	1月12日(土) 10:00~16:00	講義・グループワーク：車椅子適合 ~プランニングと試用評価のポイント~	講師：当事者、県リハセンター職員		
3	2月9日(土) 13:30~17:00	グループワーク：福祉用具専門相談員とのコラボレーション ~必要条件から車椅子の実現へ~	講師：当事者、県リハセンター職員		

* 研修終了後、事例レポートの提出をお願いします。

(2) フォローアップ研修

回	日時	内容	講師	会場	対象者
1	8月5日(日) 15:00~16:30	事例検討・グループワーク	講師：当事者、県リハセンター職員	県リハセンター	実践研修を修了した理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

(3) 福祉用具専門相談員連絡会

回	日時	内容	講師	会場	対象者
1	7月2日(月) 9:30~12:00	講演：補装具支給費制度の最新情報について ~借受けを中心に~ 講 師：中部学院大学 看護リハビリテーション学部 教授 井村 保氏 意見交換		県リハセンター	福祉用具専門相談員 等

* 2回目以降の詳細は各所属への送付案内および県リハセンターホームページでお知らせします。
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri/index.html> をご覧ください。

1 リハビリテーション支援指導研修

リハ専門職やリハビリテーションに関わる職員の知識の習得や技術の向上を目指すための研修会です。

(1) リハビリテーション医療専門職研修

日時	内容 および 講師	会場	対象者
7月28日(土) 13:30~17:00	講義：頸髄損傷の在宅を見据えたアプローチの仕方 講師：神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 教授 玉垣 努氏(作業療法士)	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等
12月15日(土) 14:00~17:00	講義：地域で取り組む食支援について ～摂食・嚥下リハビリテーションの視点から～ 講師：リハビリテーションのモグネット 主宰 小椋 脩氏(言語聴覚士・理学療法士)		
2月23日(土) 14:00~17:00	講義：NICU・PICUからはじまる小児在宅医療 ～ポジショニングや呼吸ケアへの対応と発達支援～ 講師：北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻講師 横山美佐子氏(理学療法士)		

(2) 教職員リハビリテーション研修

日時	内容 および 講師	会場	対象者
7月26日(木) 10:00~16:30	特別講演：動きの苦手さを理解して対応するために 講師：うめだ・あけぼの学園 副園長 酒井 康年氏(作業療法士) 福祉用具・自助具の展示	小松市第一地区 コミュニティー センター	特別支援学校、特別支援学級、一般学級の教職員等

2 福祉用具研修

福祉用具に関する知識の習得や技術の向上を目指すための研修会です。

(1) 補装具制度活用研修

日時	内容 および 講師	会場	対象者
1月~2月	講義：平成30年度補装具制度及び活用研修 講師：県身体障害者更生相談所職員、県リハセンター職員	県リハセンター	補装具契約業者、福祉用具専門相談員、リハ専門職等

(2) 職場環境改善研修

日時	内容 および 講師	会場	対象者
2月22日(金) 13:30~16:00	講義①：利用者職員にやさしい介護ロボット ～見守り支援機器の導入から活用～(仮題) 講師：介護老人保健施設 ひうな荘 部長 森山 由香氏(理学療法士) 講義②：人材確保等支援助成金(介護福祉機器助成コース)について 講師：調整中	県リハセンター	高齢者及び障害者、関連施設の管理者、職員等

(3) 福祉用具活用研修

日時	内容 および 講師	会場	対象者
7月1日(日) 13:30~16:30	講義：リハビリテーション専門職のためのコミュニケーション機器導入 支援について～明日から使える支援のポイント・基礎知識～ 講師：中部学院大学 看護リハビリテーション学部 教授 井村 保氏	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等

(4) バリアフリー啓発普及事業

日時	内容 および 講師	会場	対象者
9月30日(日) 10:00~16:00	障害者ふれあいフェスティバルへの参加 内容：福祉用具やユニバーサルデザイン用品の紹介および相談	県産業展示館	どなたでも
10月13日(土) 10:00~16:00	いしかわ介護フェスタへの参加 内容：介護の仕事の魅力や重要性を伝え、介護に対する理解を深める		

難病相談・支援センターでは、難病患者とご家族が、病気や日常生活上の不安を軽減し、安心して療養生活を過ごすことができるよう、各種相談をはじめ、当事者間の交流、研修会の開催、病気や就労に関する情報提供、福祉用具や住宅環境調整等の支援を行っています。

1 難病医療講演会・交流会

日時	内容および講師	会場	対象者
10月4日(木) 14:00~16:00	講義：腎臓系疾患（IgA腎症、多発性嚢胞腎、一次性ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、一次性膜性増殖性糸球体腎炎、紫斑病性腎炎）について 講師：金沢医科大学 腎臓内科学 教授 横山 仁氏	県リハセンター	対象疾患の患者、家族の方
10月30日(火) 14:00~16:00	講義：循環器系疾患（特発性拡張型心筋症、肥大型心筋症）について 講師：金沢大学附属病院 循環器内科 准教授 藤野 陽氏		
11月8日(木) 14:00~16:00	講義：血管炎症候群（高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、悪性関節リウマチ）について 講師：金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科 科長 川野 充弘氏		

*講演会終了後、同病者交流会を予定しています。

2 セルフマネジメント研修

日時	内容および講師	会場	対象者
11月15日(木) 13:30~15:30	難病患者と家族のためのヨガ体験 講師：ヨガサークルpancha 松山 幸治氏	県南加賀保健福祉センター	難病患者、家族の方
11月20日(火) 13:30~15:30	同上	県能登中部保健福祉センター	

3 難病交流会 ～疾患別・同病者交流会～ 同病者同士が思いを語り、交流できる場を提供します。

日時	疾患	会場	対象者
8月23日(木) 13:30~15:00	「肺動脈性肺高血圧症」、「特発性間質性肺炎」	県リハセンター	対象疾患の患者、家族の方
9月28日(金) 13:30~15:00	「神経線維腫症Ⅰ型」、「天疱瘡」		
10月23日(火) 13:30~15:00	「シェーグレン症候群」		

4 就労相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月21日(火) 13:30~15:30	ミニレクチャーと相談会： 難病のある方の就労について～使える制度を知ろう～ 講師：金沢公共職業安定所 難病患者就職サポーター	県リハセンター	難病患者、家族の方
9月18日(火) 10月11日(木) 11月1日(木) 13:30~15:30	就労個別相談（予約制） 難病患者就職サポーターによる個別相談		

5 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（専門医等相談会）

日時	内容および講師	会場	対象者
9月13日(木) 13:30~15:30	講義と相談会：小児の心疾患について 講師：金沢医科大学 小児循環器内科 中村 常之氏	県リハセンター	家族の方、支援者
10月18日(木) 14:00~16:00	講義と相談会：小児の炎症性腸疾患について 講師：金沢大学附属病院 炎症性腸疾患センター長 北村 和哉氏	県リハセンター	
2月16日(土) 14:00~16:00	講義と相談会：小児がんについて 講師：公益財団法人 がんの子どもを守る会（のぞみ財団） ソーシャルワーカー	県社会福祉会館	

高次脳機能障害相談・支援センターでは、当事者や家族、支援機関等からの相談に応じるほか、各種研修会や教室等を開催しています。

1 講座 [本人・家族のための高次脳機能障害講座]

回	日時	内容および講師	会場	対象者
1	7月6日(金) 13:30~15:30	講義：高次脳機能障害の理解と対応について 講師：県リハセンター 作業療法士	県リハセンター	高次脳機能障害のある方、家族
2	9月4日(火) 13:30~15:30	講義：利用できる社会資源について 講師：県リハセンター 保健師		
3	11月6日(火) 13:30~15:30	講義：就労について 講師：金沢障害者就業・生活支援センター職員		
4	1月21日(月) 13:30~15:30	講義：家族会の活動について 講師：高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 会員		

※全ての回で、終了後に座談会を行います。

2 研修会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月9日(木) 13:30~16:00	講義：病気の理解、対応方法、社会資源について 講師：県リハセンター 医師、作業療法士、保健師	県リハセンター	支援者 等
8月25日(土) 15:00~17:00	講義：高次脳機能障害者支援における医療機関と地域との協力について ～退院後を見据えたリハビリテーションアプローチ～ 講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 教授 渡邊 修氏	県リハセンター	医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等

3 講演会

日時	内容および講師	会場	対象者
調整中(9月)	講演：脳は回復する(仮題) ～高次脳機能障害からの脱出～ 講師：文筆業 鈴木 大介氏	県リハセンター	どなたでも

4 生活支援教室

高次脳機能障害のある方が、当事者同士の交流や活動を通じて自身の障害についての理解を深めるとともに、日常生活の自立や社会参加に向けて必要な代替手段を獲得することを目標とした当事者向けの教室です。詳細は6ページをご覧ください。

※参加を希望される場合は、医療機関等の支援者からの紹介が必要です。

5 就労者のつどい「わくワークの会」年2回(7月・12月の土曜日午後)開催

高次脳機能障害者の中には離職を繰り返す方がいます。雇用継続のためには、職場での支援に加え、生活面でも余暇活動の充実や地域活動の参加を促すことが有効とされています。わくワークの会では、当事者同士の交流の場を設け、就労の中で生じる悩みなどを語り合い、精神的な安定を図りつつ、就労の継続を目指しています。参加を希望される方は、支援者を通じてお申し込みください。

場所：ほっとあんしんの家 対象者：一般就労をしている方(障害者雇用含む)

「高次脳機能障害患者と家族の会つばさ」からのお知らせ

毎月第3日曜日に「ほっとあんしんの家」にて定例会を開催し、当事者・家族が体験を語りながら交流しています。料理教室やキャンプ等の行事もあります。この障害で悩んでいる方は、ぜひ一度ご参加ください。

同じ悩みを持つ仲間がいます。ご参加をお待ちしています！

※会場が変更となる場合もありますので、詳細については当センターまでお問い合わせください。

高次脳機能障害相談・支援センター 『生活支援教室』 のご紹介

昨年度、新規に高次脳機能障害（以下、障害）に関する相談をいただいた方のうち半数以上が本人・家族からの相談です。また、受傷からの期間が1年以上の方が49%と約半数で、相談内容で最も多いものは「障害の理解や対応」となっているため、当センターでは受傷後なるべく早いうちに、ご本人や周囲の方が障害に対して正しい知識を持ち、対応できることを目指しています。

障害のある方の多くに「病識の欠如がある」と言われています。自分自身の障害に気づいていないため、訓練や支援に対してご本人の協力が得られず、支援に苦慮することも多いと言われます。障害への気づきが乏しいまま地域での生活を再開して失敗経験を繰り返すことで、人間関係がこじれたり、気分が落ち込んだりして、ご本人やご家族が疲弊した状態で当センターへ相談に来られるケースが増えていきます。

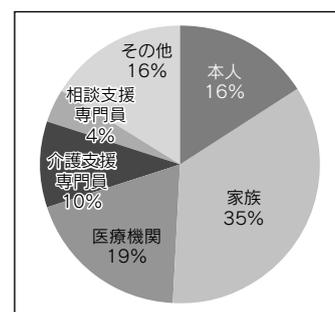
これらの課題に対し、周囲が無理に障害を受容させようとするのではなく、自分自身で気づいていくことを支援する関わりが必要です。支援の一つとして、当事者同士の活動が有効であると言われていることから、当センターでは、当事者同士のグループ活動の中で得られる成功体験や失敗体験をフィードバックし、本人が対処方法を身に付けることが出来るような場として『生活支援教室』を行っています。

医療機関から地域へ移行する際には、ご本人が障害への認識を深め、代替手段を用いるなどの対処方法を身につけ、それらを実生活に活かすリハビリテーション・アプローチが継続されることで、自立生活や就労等に結びつくと考えます。

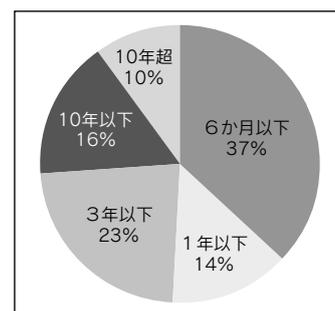
当センターでは、医療機関や関係機関との連携を深め、高次脳機能障害者の支援充実を図っていきたくと考えておりますので、ご支援ご協力をお願いします。

【生活支援教室の概要】

- ・開催日時：毎週水曜日 9時30分～12時
- ・場所：石川県リハビリテーションセンター
- ・担当：保健師、心理相談員、作業療法士など
- ・内容：学習（右の表をご参照ください）
 - 認知課題（解決方法や工夫をグループで話し合い実践します）
 - 応用課題（認知課題などで体験した方法を生活動作で実践します）
- ・対象者：医療機関等からの紹介を受け、支援手段として生活支援教室の参加が適当であると判断した方としています。



新規相談者の内訳（平成29年度）



新規相談時の受傷からの期間（平成29年度）

内容（学習の例）	担当者
高次脳機能障害とは	作業療法士
注意障害について	//
記憶障害について	//
時間管理の仕方	//
健康な生活とは	保健師
健康管理の仕方	//
セルフケアについて	//



ヘルプマークを知っていますか？

ヘルプマークは、難病や内部障害など援助や配慮が必要な方が、日常生活や災害時にそのことを周囲に知らせるマークです。マークを身に着けた方を見かけたときは、ぜひ思いやりのある対応をお願いします。

※東京都が考案して JIS 化がされており、全国でも普及が進んでいます。左のマーク色はイメージです。ヘルプマークを使用する場合は、JIS Z8210（案内用図記号）に準拠してご利用ください。

問い合わせ先

石川県リハビリテーションセンター
 TEL (076) 266-2860 FAX (076) 266-2864
 E-mail iprc@pref.ishikawa.lg.jp
 URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri>

難病相談・支援センター
 TEL (076) 266-2738 FAX (076) 266-2864
 E-mail nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp
 URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/nanbyou/>

高次脳機能障害相談・支援センター
 TEL (076) 266-2188 FAX (076) 266-2864
 URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>

「相談は傾聴、親身、親切に」

リハビリテーションセンターでは、
 県民ニーズに応えるため、
 より質の高いサービスの提供を
 目指しています。

編集・発行

石川県リハビリテーションセンター
 〒920-0353 金沢市赤土町ニ13-1